

**【使用目的】**

配偶子や胚の処理または培養を少量の培地で実施する際に重層することで、水分の蒸発を減少させ培地の Osmolality や pH の変化を抑制するために使用。

【品質確認試験】

ロットごとに Endotoxin、Mouse Embryo Test、Human Sperm Survival Assay 及び無菌性が試験される。

【使用方法】

必要に応じて使用前に 37℃ に加温し、CO₂ インキュベーター内で数時間または一晩気相と平衡化させる培養液等による不純物の洗浄操作は不要。

【保存温度】 15–30℃

【有効期間】 製造後 2 年

※開封後の有効期限

使用上の注意に従い、15–30℃ で保管すれば、開封後 8 週間まで使用可能である。

但し、その期限が、ラベル記載の有効期限より長い場合は、ラベル記載の有効期限までとする。

【使用上の注意】

凍結したり 39℃ 以上にししないこと。

長時間の光の照射を避けること。

保存時には光の照射を受けない場所に保管すること。

注射剤として使用してはいけない。

【参考文献】

Johnson C, et al. ; The use of oil overlay for in-vitro fertilization and culture. Assisted Reprod Reviews, 4 : 198, 1994

Miller KF, et al. ; Covering embryo cultures with mineral oil alters embryo growth by acting as a sink for an embryotoxic substance. J Assist Reprod Genet, 11 : 342, 1994

Provo MB and Herr C ; Washed paraffin oil becomes toxic to mouse embryos upon exposure to sunlight. Teriogenology, 49 : 214, 1998

**【使用目的】**

採卵、精子の洗浄、ICSI 等配偶子の処理や胚の移植等。

【品質確認試験】

ロットごとに pH、Osmolality、Endotoxin、Mouse Embryo Test 及び無菌性が試験される。

【サプリメント】

タンパク質不含。一般に配偶子の採取ではタンパク質のサプリメントを添加せずに使用するが、すでに添加したプロトコールがある場合にはプロトコールにしたがって添加する。

【使用方法】

室温または目的とする温度 (37℃ 等) に加温して使用する。

【保存温度】 25–30℃

【組成表】 p 47 参照 : Dulbecco's PBS (+)

【有効期間】

製造後 6 ヶ月

【使用上の注意】

異物の混在や溶液に濁りがみられた場合、着色がみられた場合には使用しないこと。

低温で長期間保存すると結晶が析出することがあり得るので室温で保存すること。

凍結したり 39℃ 以上にししないこと。

【参考文献】

Dulbecco R and Vogt M ; Plaque formation and isolation of pure lines with poliomyelitis viruses. J Exp Med, 99 : 167, 1954

Dulbecco R and Freeman G ; Plaque production by the polyoma virus. Virology, 8 : 396, 1959

